

キーワードで検索できます

奉行クラウド ヘルプセンター > 総務人事奉行クラウド > リリースノート

2022/09/16 (予定) 改正

育児・介護休業法の改正に対応 他 1 件

目次

- 労務手続
 - 育児・介護休業法の改正に対応
 - e-Gov電子申請APIに対応

労務手続

育児・介護休業法の改正に対応

令和4年10月1日から、通常の育児休業とは別に、子の出生後8週間以内に4週間まで取得可能な休業制度、いわゆる産後パパ育休（出生時育児休業）が創設されます。

また、育児休業を分割して取得できるようになります。

産後パパ育休を取得する従業員からの申請

- 出生前

従業員は、通常の育児休業とは別に、産後パパ育休が申請できます。

参考 産後パパ育休は分割して2回取得することも可能です。その場合は、はじめにまとめて申し出る必要があります。当サービスでは、[産後パパ育休を分割して取得する] ボタンをクリックすると、2回分の期間を入力できます。

- 出生後

担当者は出生前に提出された情報を確認した後、従業員へ出生後あらためて出生日や子の氏名などを提出するよう依頼します。

従業員は、受け取ったメールのURLから入力して提出します。

OB C i D <no-reply@obc.jp>
育児休業の届出に関する連絡

お疲れ様です。川谷です。

育児休業手続に関して、連絡いたします。

1. 出生報告について

育児休業の手続では、出生日、子の氏名等の情報が必要となります。
出生後、下記のURLにアクセスして、必要な情報をご入力ください。

<https://>

2. 提出いただきたい書類について

保存

STEP 1 入力

STEP 2 提出

1 子の情報を入力しましょう

出生日 年 月 日

氏名 氏名カナ

養育対象 ☒ 実子 ☐ 養子等

母子手帳コピー（市区町村の出生証明のページ） [?](#)

[画像添付](#)

産後パパ育休の届出書類の作成・提出

従業員から提出してもらった情報をもとに、担当者は以下の書類を作成・提出できます。

- 健康保険・厚生年金保険 育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届

参考 従来の育児休業でも提出していた書類ですが、今回の改正に伴って記載事項に変更が入ります。

- 雇用保険 育児休業給付受給資格確認票・出生時育児休業給付金支給申請書

参考 通常の育児休業の給付金支給申請とは異なり、産後パパ育休の給付金支給申請に必要な書類です。

- 雇用保険 被保険者休業開始時賃金月額証明書

参考 今回の改正により、従来の育児休業でも分割して2回取得することが可能になります。その場合、当サービスでは、それぞれのタイミングで従業員に「申請 - 育児休業」メニューから申請してもらいます。

例 以下のように、女性社員が育児休業を分割して2回取得する場合

- 産前産後休業から続けて半年間の育児休業を取得（1回目）
- 育児休業の開始から半年後、夫が育児休業を取得することになったため職場復帰
- 保育所に入所できなかったため、子が1歳になったタイミングで再度育児休業を取得（2回目）

この場合は、1回目（産前産後休業を終了するタイミング）で従業員から「育児休業」を申請してもらい、申請されたら育児休業の手続きを進めます。

2回目（再度育児休業を取得することを決めたタイミング）で、従業員から1回目とは別で「育児休業」を申請してもらいます。申請されたら2回目の育児休業の手続きを進めます。

使用できる条件

『奉行Edge 労務管理電子化クラウド』をご利用の場合

対応メニュー

「労務手続 - 手続開始 - 育児休業」メニュー

e-Gov電子申請APIに対応

デジタル庁が提供する「e-Gov外部連携API」が、2022年12月31日にサポートを終了する予定です。

それに伴い、デジタル庁より新たに提供されている「e-Gov電子申請API」に対応しました。

- 「e-Gov外部連携API」で電子申請している場合は、電子申請方法を変更する必要があります。
「e-Gov電子申請API」で電子申請する場合は、[\[運用設定\] メニュー](#)の「労務手続」ページで、電子申請方法に「e-Gov電子

申請API」を選択して「旧API（e-Gov外部連携API）で申請する」のチェックは外してください。



- 「e-Gov電子申請API」で電子申請するためには、あらかじめアカウントを準備する必要があります。

アカウントには、「G BizID」を利用することをおすすめします。

「G BizID」を取得していない場合は、あらかじめ、以下の「G BizID」のホームページで、「gBizID プライム」のアカウントを取得してください（すでに取得している場合は不要です）。

なお、「G BizID」の取得までの審査に2週間程度要しますので、ご注意ください。

[gBizIDへようこそ](#) | [G BizID](#)

参考

- 「e-Gov電子申請API」では、「e-Govアカウント」や「Microsoftアカウント」でも電子申請できます。その場合は、以下の各ホームページからアカウントを取得してください。

- e-Govアカウント

[e-Govアカウントの取得](#) | [e-Gov電子申請](#)

- Microsoftアカウント

[Microsoft アカウントへようこそ](#) | [Microsoft](#)

- 「e-Govアカウント」や「Microsoftアカウント」で電子申請する場合は、「ファイル形式の電子証明書」が必要です。電子申請するデータに、電子署名を付与する必要があるためです。

電子政府の総合窓口（e-Gov）の「認証局のご案内」で紹介されている認証局から、「ファイル形式の電子証明書」を取得してください。

詳細は、以下のホームページをご参照ください。

[認証局のご案内](#) | [e-Gov電子申請](#)

なお、当サービスで利用できる電子証明書は、ファイル形式の電子証明書です。ICカード形式の電子証明書を利用することはできません。

使用できる条件

『奉行Edge 労務管理電子化クラウド』をご利用の場合

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。